

配信資料に関する技術情報第 507 号

～高解像度降水ナウキャストの改良について～
(配信資料に関する技術情報第 398 号関連)

概要

気象庁では、レーダーなどの観測データを利用して降水分布を解析し、1 時間先までの降水分布を予測する高解像度降水ナウキャストを提供しています。これまで、高解像度降水ナウキャストは、気象庁 C バンドドップラーレーダー及び国土交通省 X バンド MP レーダ雨量計のデータを利用して降水分布を解析してきました。

今回、精度の向上を目的に、高解像度降水ナウキャストで国土交通省 C バンドレーダ雨量計の利用を開始します。

1 実施日時

平成 31 年 3 月 5 日 13 時（日本時間）

2 気象情報の内容等

一般にレーダーを用いた降水分布の解析では、レーダー近傍ほど高い精度が得られるため、使用するレーダーの数の増大により精度を改善できます。また、使用するレーダー数が多いほど、いずれかのレーダーに障害が発生しても、互いに補うことにより精度を維持することができます。

今回、高解像度降水ナウキャストに国土交通省 C バンドレーダ雨量計を利用することにより精度が改善されます。

3 気象情報の仕様

高解像度降水ナウキャスト及び高解像度降水ナウキャスト 5 分間降水量のデータフォーマットに係る資料の記載内容の一部を下記のとおり変更します。

なお、配信するプロダクトのフォーマットに変更はありません。

変更対象：

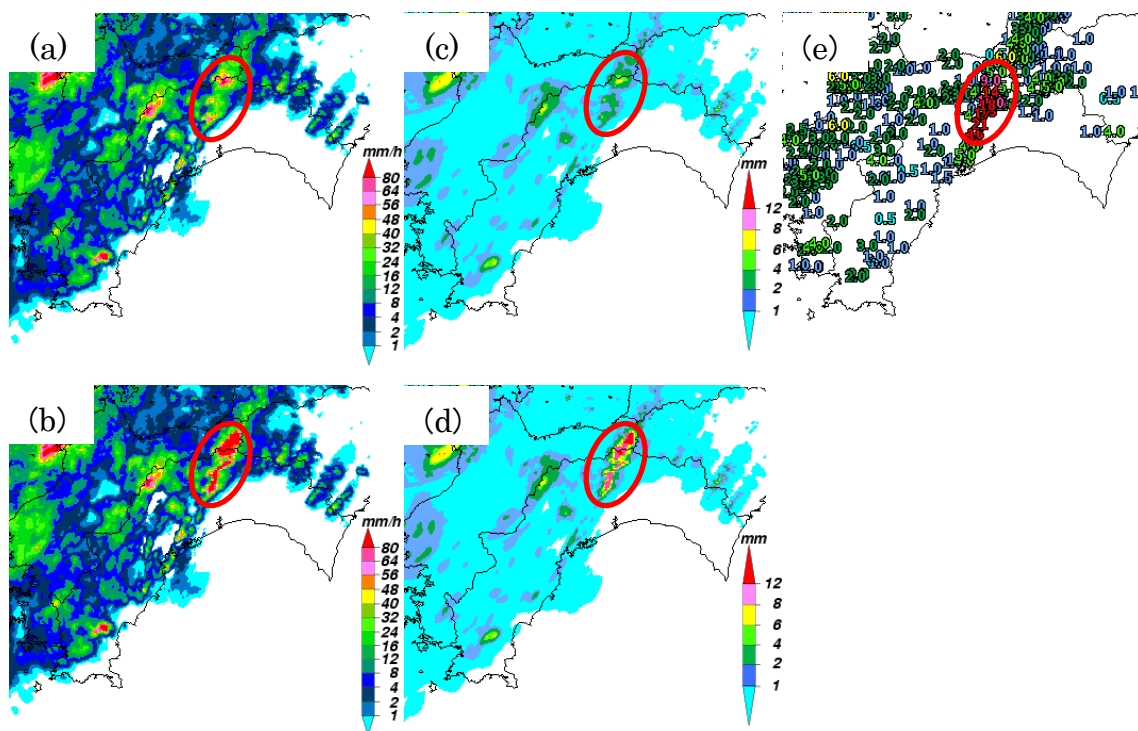
高解像度降水ナウキャスト・高解像度降水ナウキャスト 5 分間降水量
データフォーマット資料（別紙 1、別紙 2）

変更内容：

第 4 節のレーダー等運用情報 2 の保留ビットに国土交通省 C バンドレーダ雨量計の利用情報を記載。

4 障害時やメンテナンス時の対応

本変更後も障害時やメンテナンス時の対応に変更はありません。



2018年7月6日12時00分UTCの高解像度降水ナウキャストと高解像度降水ナウキャスト5分間降水量の初期値の図

(a)高解像度降水ナウキャスト（国土交通省Cバンドレーダ雨量計なし）

(b)高解像度降水ナウキャスト（国土交通省Cバンドレーダ雨量計あり）

(c)高解像度降水ナウキャスト5分間降水量（国土交通省Cバンドレーダ雨量計なし）

(d)高解像度降水ナウキャスト5分間降水量（国土交通省Cバンドレーダ雨量計あり）

(e)同時刻の前10分間雨量。

(a)と(c)では愛媛、徳島、高知県境付近で強い雨が表現されていないが、(b)と(d)では強い雨が表現されており、(e)の雨量分布に近づいている。

「高解像度降水ナウキャスト」GPV要素の詳細

平成31年2月
気象庁予報部

留意事項

- ・データ(降水強度)は、指定された格子間隔を持った該当する長方格子の中の代表値であり、格子の中心の緯度・経度が格子点の緯度・経度として指定されています(つまり、データは格子点値ではなく、その緯度経度を中心とした格子の代表値であるということ)。
- ・GRIB2中の作成ステータスを利用して試験を行う場合があるので、必ず作成ステータスを参照するようにお願いします。
- ・ランレングス圧縮に用いるレベルの最大値が対象時刻の最大レベルであり、可変ですので、ご注意下さい。
- ・レベルに対応する代表値は、必ずGRIB2に埋め込まれたものを利用するようにして下さい(変更される可能性があります)。
- ・その他、格子点数や緯度・経度情報、パラメータ、統計期間、1データのビット数なども、変更される可能性がありますので、既定のものとしてご利用になることは避けて下さい。
- ・GRIB2では、ビッグエンディアンのデータ並びになっています。
- ・負の値は最上位ビットを1にすることにより示します(“符号+絶対値表現”)。

「高解像度降水ナウキャスト」GPVに用いるGRIB2のフォーマットおよびテンプレートの詳細

節番号	節の名称・該当テンプレート	オクテット	内容	表	値	備考
第0節	指示節	1~4	GRIB		"GRIB"	国際アルファベットNo.5(COIT IA5)
		5~6	保留		missing	
		7	資料分野	符号表0.0	0	気象分野
		8	GRIB版番号		2	
		9~16	GRIB報全体の長さ		*****	
第1節	識別節	1~4	節の長さ		21	
		5	節番号		1	
		6~7	作成中核の識別	共通符号表C-1	34	東京
		8~9	作成副中核		0	
		10	GRIBマスター表バージョン番号	符号表1.0	10	現行運用バージョン番号(最新バージョンは
		11	GRIB地域表バージョン番号	符号表1.1	1	地域表バージョン1
		12	参照時刻の意味	符号表1.2	1	予報の開始時刻
		13~14	資料の参照時刻(年)		※1	
		15	資料の参照時刻(月)		※1	
		16	資料の参照時刻(日)		※1	
		17	資料の参照時刻(時)		※1	
		18	資料の参照時刻(分)		※1	
		19	資料の参照時刻(秒)		※1	
		20	作成ステータス	符号表1.3	T	0=現業プロダクト、1=現実的試験プロダクト
21	資料の種類	符号表1.4	2	解析及び予報プロダクト		
第2節	地域使用節	不使用				省略
第3節	格子系定義節	1~4	節の長さ		72	
		5	節番号		3	
		6	格子系定義の出典	符号表3.0	0	符号表3.1参照による
		7~10	資料点数		※2	可変
		11	格子点数を定義するリストのオクテット数		0	
		12	格子点数を定義するリストの説明		0	
		13~14	格子系定義テンプレート番号	符号表3.1	0	緯度・経度格子
		15	地球の形状	符号表3.2	4	GRS80回転楕円体
		16	地球球体の半径の尺度因子		missing	
		17~20	地球球体の尺度付き半径		missing	
		21	地球回転楕円体の長軸の尺度因子		1	
		22~25	地球回転楕円体の長軸の尺度付きの長さ		63781370	
		26	地球回転楕円体の短軸の尺度因子		1	
		27~30	地球回転楕円体の短軸の尺度付きの長さ		63567523	
31~34	経線に沿った格子点数		※2	可変		
35~38	経緯に沿った格子点数		※2	可変		
39~42	原作成領域の基本角		0			
43~46	端点の経度及び緯度並びに方向増分の定義に用いられる基本角の細分		missing			
47~50	最初の格子点の緯度	10-6度単位	※2			
51~54	最初の格子点の経度	10-6度単位	※2			
55	分離及び傾斜フラグ	フラグ表3.3	0x30			
56~59	最後の格子点の緯度	10-6度単位	※2			
60~63	最後の格子点の経度	10-6度単位	※2			
64~67	i方向の増分	10-6度単位	※	250mエリアは3125[1/80/4]、1kmエリアは12500[1/80]		
68~71	j方向の増分	10-6度単位	※	250mエリアは2083[(2/3)*(1/80)/4]、1kmエリアは8333[(2/3)*(1/80)]		
72	i方向の増分	フラグ表3.4	0x00			
第4節	プロダクト定義節	1~4	節の長さ		82	
		5	節番号		4	
		6~7	テンプレート直後の座標値の数		0	
		8~9	プロダクト定義テンプレート番号	符号表4.0	50011	Xバンドレーダーを使用した予測プロダクト(テンプレート4.8の拡張版)
第5節	資料表現節	10	パラメータカテゴリ	符号表4.1	1	湿度
		11	パラメータ番号	符号表4.2	※	203:降水強度レベル値(解析、予報)
		12	作成処理の種類	符号表4.3	2	214:降水強度の誤差の要因
		13	背景作成処理識別符	符号表4.3	2	0:解析・解析誤差、2:予報
		14	予報の作成処理識別符	符号表JMA.4.1	151	降水ナウキャスト
		15~16	観測資料の参照時刻からの繰切時間(時)		missing	
		17	観測資料の参照時刻からの繰切時間(分)		0	
		18	期間の単位の指示符	符号表4.4	0	分
		19~22	予報時間		※1	
		23	第一固定面の種類	符号表4.5	1	地面又は水面
		24	第一固定面の尺度因子		missing	
		25~28	第一固定面の尺度付きの値		missing	
		29	第二固定面の種類	符号表4.5	missing	
		30	第二固定面の尺度因子		missing	
		31~34	第二固定面の尺度付きの値		missing	
		35~36	全時間間隔の終了時(年)		※1	
		37	全時間間隔の終了時(月)		※1	
		38	全時間間隔の終了時(日)		※1	
		39	全時間間隔の終了時(時)		※1	
		40	全時間間隔の終了時(分)		※1	
		41	全時間間隔の終了時(秒)		※1	
		42	統計を算出するために使用した時間間隔を記述する種類の仕様の数		1	
		43~46	統計処理における欠測資料の総数		0	
		47	統計処理の種類	符号表4.10	196	196:代表値(解析、予報)
48	統計処理の時間増分の種類	符号表4.11	2	同じ予報開始時刻を持ち、予報時間に増分が加えられる		
49	統計処理の時間の単位の指示符	符号表4.4	0	分		
50~53	統計処理した期間の長さ		※	5(解析、誤差情報、予報)		
54	連続的な資料増分の増分に関する時間の単位の指示符		0			
55~58	連続的な資料増分の時間の増分		0	連続的な処理の結果		
59~66	レーダー等運用情報1		※3			
67~74	レーダー等運用情報2		※3			
75~82	レーダー等運用情報3		※3			
第6節	ビットマップ節	1~4	節の長さ		*****	
		5	節番号		5	
		6~9	全資料点の数		※2	可変
		10~11	資料表現テンプレート番号	符号表5.0	200	格子点資料→ランレングス圧縮
		12	1データのビット数		8	
		13~14	今回の圧縮に用いたレベルの最大値		V	Vは可変(<=M)
15~16	レベルの最大値		M			
17	データ代表値の尺度因子		※	2(解析、予報)通報する代表値は10**2倍されている。0(誤差情報)代表値がカテゴリ番号m=1~M、レベル0は欠測値、単位はmm/h(予報、解析)又はカテゴリ(誤差)		
第7節	資料節	1~4	節の長さ		6	
		5	節番号		6	
		6	ビットマップ指示符		255	ビットマップを適用せず
第8節	終端節	1~4	節の長さ		*****	
		5	節番号		7	
第9節	終端節	6~nn	ランレングス圧縮オクテット列		D	資料テンプレート7.200で記述された形式
		1~4			"7777"	国際アルファベットNo.5(COIT IA5)

! 値が「missing」の場合、そのデータは全ビット0の値、英数字の変数名や「*****」は可変を示す。
※は可変の値

※1 「高解像度降水ナウキャスト」の降水強度レベル値に
 プロダクト定義テンプレート4.50011を適用した場合の各項目の表現
 (2012年10月10日1220UTCを初期値とする高解像度降水ナウキャストの場合)

	①参照時刻	②予報時間	③開始時刻 (①+②)	④統計 期間	⑤全時間の 終了時
NCT解析	2012.10.10.12:20	-5	-5 2012.10.10.12:15	5	2012.10.10.12:20
NCT誤差情報	2012.10.10.12:20	-5	-5 2012.10.10.12:15	5	2012.10.10.12:20
NCT予測	2012.10.10.12:20	0	0 2012.10.10.12:20	5	2012.10.10.12:25
.....					

単位=分

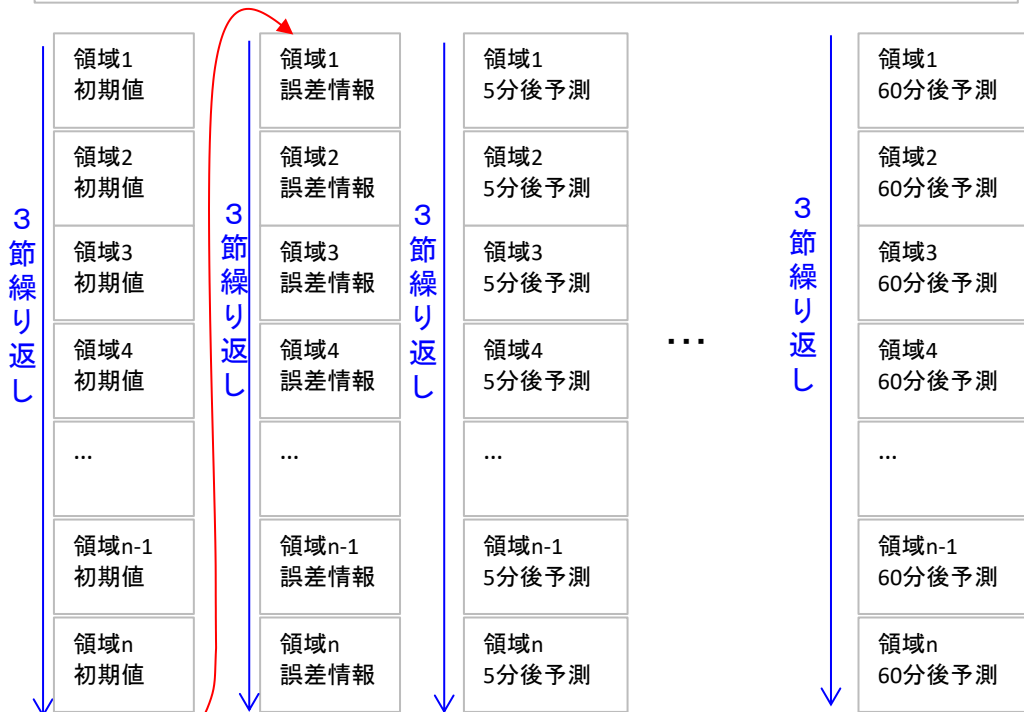
単位=分

! 負の値は最上位ビットを1にすることにより示す(“符号+絶対値表現”)。

高解像度降水ナウキャストは、全国を複数の領域で覆うように領域を設定し、最大分解能250mで各領域ごとに30分先まで予測を作成する。また、1kmの分解能で35分先から60分先までの予測を作成する。

領域の分解能と大きさは、第3節に記述する。

GRIB2内部は、情報毎に領域の数だけ記述し、それを情報の数だけ繰り返す(下図参照)。なお、各領域には重複部分を含む可能性があるため、再度日本域を合成するときは、3節の情報を参照のこと。



- 誤差情報内容(レベル値)
- 0: 観測範囲外又は欠測
 - 1: 正常
 - 2: クラッター
 - 3: 上空エコー(弱)
 - 4: 上空エコー(強)
 - 5: ブライトバンド
 - 6: 雹

※3 レーダー等運用情報の詳細

(1) レーダー等運用情報1

解析値の作成に観測データを使用したレーダーサイトの情報である。レーダーとオクテット、ビットとの対応は次の表の通りである。ビットが1のときは観測データを使用、0のときは未使用を表す。

		ビット								
		7	6	5	4	3	2	1	0	
オクテット	59	菅岳	九千部	桜島	石狩	山鹿	宇城	浜松	(保留)	国土交通省 XバンドMPレーダ 雨量計
	60	六甲	熊山	常山	牛尾山	野貝原	葛城	風師山	古月山	
	61	尾西	富士宮	香貫山	静岡北	鈴鹿	安城	鷺峰山	田口	
	62	田村	水橋	氏家	能美	八斗島	関東	船橋	新横浜	
	63	北広島	鷹巣	盛岡	涌谷	岩沼	伊達	京ヶ瀬	中ノ口	
	64	種子島	名瀬	沖縄	石垣島	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	
	65	長野	静岡	名古屋	大阪	松江	広島	室戸岬	福岡	
66	札幌	釧路	函館	仙台	秋田	東京	新潟	福井	気象庁 ドップラーレーダー	

(2) レーダー等運用情報2

解析値の作成に観測データを使用したレーダーサイトの情報である。レーダーとオクテット、ビットとの対応は次の表の通りである。ビットが1のときは観測データを使用、0のときは未使用を表す。

		ビット								
		7	6	5	4	3	2	1	0	
オクテット	67	五島	八重岳	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	国土交通省 Cバンドレーダ 雨量計
	68	深山	城ヶ森山	羅漢山	大和山	明神山	高城山	釈迦岳	国見山	
	69	薬師岳	聖高原	赤城山	三ツ峠	大楠山	高鈴山	御在所	蛇峠	
	70	ピンネシリ	乙部岳	霧裏山	函岳	物見山	白鷹山	西岳	宝達山	
	71	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	
	72	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	
	73	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	
	74	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	

(3) レーダー等運用情報3

保留(ビットはすべて1)

「高解像度降水ナウキャスト(5分間降水量)」 GPV要素の詳細

平成31年2月
気象庁予報部

留意事項

- ・データは、指定された格子間隔を持った該当する長方格子の中の代表値であり、格子の中心の緯度・経度が格子点の緯度・経度として指定されています(つまり、データは格子点値ではなく、その緯度経度を中心とした格子の代表値であるということ)。
- ・GRIB2中の作成ステータスを利用して試験を行う場合があるので、必ず作成ステータスを参照するようにお願いします。
- ・ランレングス圧縮に用いるレベルの最大値が対象時刻の最大レベルであり、可変ですので、ご注意ください。
- ・レベルに対応する代表値は、必ずGRIB2に埋め込まれたものを利用するようにして下さい(変更される可能性があります)。
- ・その他、格子点数や緯度・経度情報、パラメータ、統計期間、1データのビット数なども、変更される可能性がありますので、既定のものとしてご利用になることは避けて下さい。
- ・GRIB2では、ビッグエンディアンのデータ並びになっています。
- ・負の値は最上位ビットを1にすることにより示します(“符号+絶対値表現

「高解像度降水ナウキャスト(5分間降水量)」GPVに用いるGRIB2のフォーマットおよびテンプレートの詳細

節番号	節の名称・該当テンプレート	オクテット	内容	表	値	備考			
第0節	指示節	1~4	GRIB			"GRIB"	国際アルファベットNo.5(COITT IA5)		
		5~6	保留			missing			
		7	資料分野	符号表0.0		0	気象分野		
		8	GRIB版番号			2			
		9~16	GRIB報全体の長さ			*****			
		第1節	識別節	1~4	節の長さ			21	
				5	節番号			1	
				6~7	作成中核の識別	共通符号表C-1		34	東京
				8~9	作成副中核			0	
				10	GRIBマスター表バージョン番号	符号表1.0		10	現行運用バージョン番号(最新バージョンは
11	GRIB地域表バージョン番号			符号表3.1		1	地域表バージョン1		
12	参照時刻の意味			符号表1.2		1	予報の開始時刻		
13~14	資料の参照時刻(年)					※1			
15	資料の参照時刻(月)					※1			
16	資料の参照時刻(日)					※1			
17	資料の参照時刻(時)					※1			
18	資料の参照時刻(分)					※1			
19	資料の参照時刻(秒)			※1					
20	作成ステータス	符号表1.3		T	0=現業プロダクト、1=現実的試験プロダクト				
21	資料の種類	符号表1.4		2	解析及び予報プロダクト				
第2節	地域使用節	不使用				省略			
第3節	格子系定義節	1~4	節の長さ			72			
		5	節番号			3			
		6	格子系定義の出典	符号表3.0		0	符号表3.1参照による		
		7~10	資料点数			※2	可変		
		11	格子点数を定義するリストのオクテット数			0			
		12	格子点数を定義するリストの説明			0			
		13~14	格子系定義テンプレート番号	符号表3.1		0	緯度・経度格子		
		15	地球の形状	符号表3.2		4	GRS80回転楕円体		
		16	地球球体の半径の尺度因子			missing			
		17~20	地球球体の尺度付き半径			missing			
		21	地球回転楕円体の長軸の尺度因子			1			
		22~25	地球回転楕円体の長軸の尺度付きの長さ			63781370			
		26	地球回転楕円体の短軸の尺度因子			1			
		27~30	地球回転楕円体の短軸の尺度付きの長さ			63567523			
31~34	経線に沿った格子点数			※2	可変				
35~38	経線に沿った格子点数			※2	可変				
39~42	原作成領域の基本角			0					
43~46	端点の経度及び緯度並びに方向増分の定義に用いられる基本角の細分			missing					
47~50	最初の格子点の緯度	10-6度単位		※2					
51~54	最初の格子点の経度	10-6度単位		※2					
55	分離及び統合フラグ	フラグ表3.3		0x30					
56~59	最後の格子点の緯度	10-6度単位		※2					
60~63	最後の格子点の経度	10-6度単位		※2					
64~67	i方向の増分	10-6度単位		※	250mエリアは3125[1/80/4]、1kmエリアは12500[1/80]				
68~71	j方向の増分	10-6度単位		※	250mエリアは2083[(2/3)*1/80/4]、1kmエリアは8333[(2/3)*1/80]				
72	走査モード	フラグ表3.4		0x00					
第4節	プロダクト定義節	1~4	節の長さ			82			
		5	節番号			4			
		6~7	テンプレート直後の座標値の数			0			
		8~9	プロダクト定義テンプレート番号	符号表4.0		50011	Xバンドレーダーを使用した予測プロダクト(テンプレート4.8の拡張版)		
第5節	資料表現節	10	パラメータカテゴリー	符号表4.1		1	湿度		
		11	パラメータ番号	符号表4.2		8	断する。		
		12	作成処理の種類	符号表4.3		※	0:解析、2:予報・誤差		
		13	背景作成処理識別符	符号表JMA.4.1		151	降水ナウキャスト		
		14	予報の作成処理識別符			missing			
		15~16	観測資料の参照時刻からの繰切時間(時)			0			
		17	観測資料の参照時刻からの繰切時間(分)			5			
		18	期間の単位の指示符	符号表4.4		0	分		
		19~22	予報時間			※1			
		23	第一固定面の種類	符号表4.5		1	地面又は水面		
		24	第一固定面の尺度因子			missing			
		25~28	第一固定面の尺度付きの値			missing			
		29	第二固定面の種類	符号表4.5		missing			
		30	第二固定面の尺度因子			missing			
		31~34	第二固定面の尺度付きの値			missing			
		35~36	全時間間隔の終了時(年)			※1			
		37	全時間間隔の終了時(月)			※1			
		38	全時間間隔の終了時(日)			※1			
		39	全時間間隔の終了時(時)			※1			
		40	全時間間隔の終了時(分)			※1			
		41	全時間間隔の終了時(秒)			※1			
		42	統計を算出するために使用した時間隔を記述する種類の仕様数			1			
		43~46	統計処理における欠測資料の総数			0			
		47	統計処理の種類	符号表4.10		※	1:積算(解析、予報)、195(誤差情報:格子内部での変動の最大値)		
		48	統計処理の時間増分の種類	符号表4.11		2	同じ予報開始時刻を持ち、予報時間に増分が加えられる		
		49	統計処理の時間の単位の指示符	符号表4.4		0	分		
		50~53	統計処理した期間の長さ			※	5(解析、予報)、60(予報誤差)		
		54	連続的な資料場間の増分に関する時間の単位の指示符			0			
		55~58	連続的な資料場間の時間の増分			0	連続的な処理の結果		
		59~66	レーダー等運用情報1			※3			
		67~74	レーダー等運用情報2			※3			
		75~82	レーダー等運用情報3			※3			
		第6節	ビットマップ節	1~4	節の長さ			*****	
				5	節番号			5	
6~9	全資料点数					※2	可変		
10~11	資料表現テンプレート番号			符号表5.0		200	格子点資料-ランレングス圧縮		
12	1データのビット数					8			
13~14	今回の圧縮に用いたレベルの最大値					V	Vは可変(<=M)		
15~16	レベルの最大値					M			
17	データ代表値の尺度因子			2	通報する代表値は10**2倍されている				
16+2xM~17+2xM	レベルMに対応するデータ代表値			m=1~M、レベル0は欠測値、単位はmm					
第7節	資料節	1~4	節の長さ			6			
		5	節番号			6			
		6	ビットマップ指示符			255	ビットマップを適用せず		
第8節	終端節	1~4	節の長さ			*****			
		5	節番号			7			
テンプレート7.200	6~nn	ランレングス圧縮オクテット列			D	資料テンプレート7.200で記述された形式			
テンプレート7.200	1~4	7777			"7777"	国際アルファベットNo.5(COITT IA5)			

第3節~第7節を繰り返す

! 値が「missing」の場合、そのデータは全ビット1の値、英数字の変数名や「*****」は可変を示す。
※は可変の値

※1 「高解像度降水ナウキャスト(5分間降水量)」の降水強度レベル値に
 プロダクト定義テンプレート4.50011を適用した場合の各項目の表現
 (2012年10月10日1220UTCを初期値とする「高解像度降水ナウキャスト(5分間降水量)」の場合)

	①参照時刻	②予報時間	③開始時刻 (①+②)	④統計 期間	⑤全時間の 終了時
NCT解析	2012.10.10.12:20	-5	-5 2012.10.10.12:15	5	2012.10.10.12:20
NCT誤差情報	2012.10.10.12:20	0	0 2012.10.10.12:20	60	2012.10.10.13:20
NCT予測	2012.10.10.12:20	0	0 2012.10.10.12:20	5	2012.10.10.12:25
.....					

単位=分

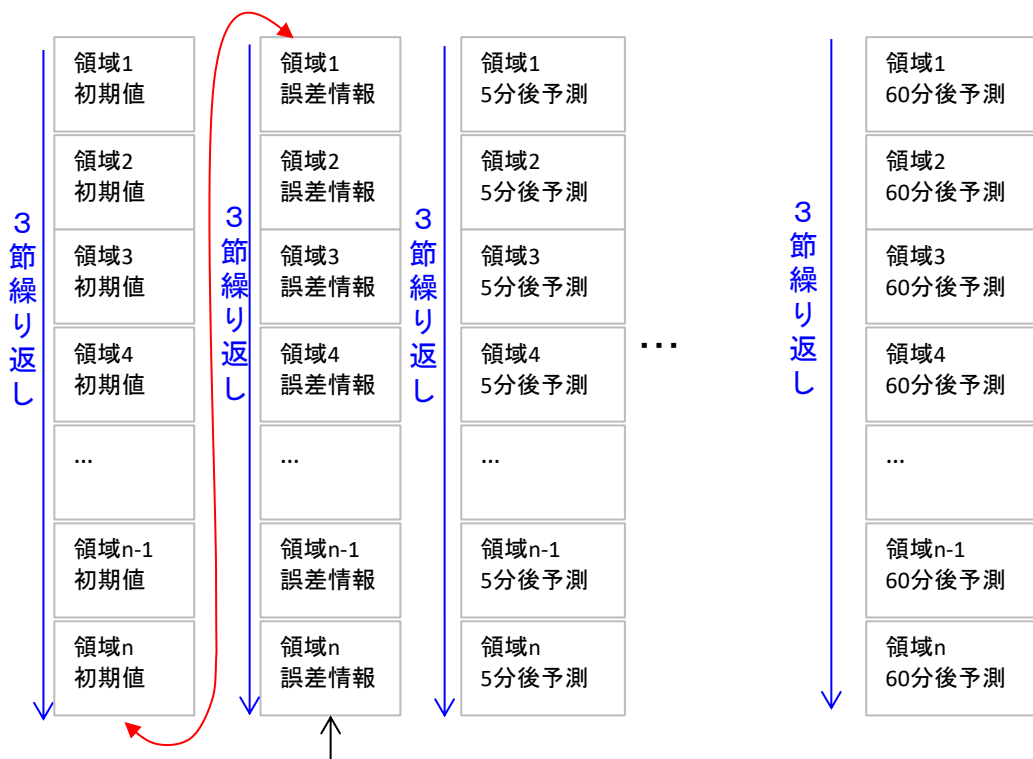
単位=分

! 負の値は最上位ビットを1にすることにより示す(“符号+絶対値表現”)。

高解像度降水ナウキャストは、全国を複数の領域で覆うように領域を設定し、最大分解能250mで各領域ごとに30分先まで予測を作成する。また、1kmの分解能で35分先から60分先までの予測を作成する。

領域の分解能と大きさは、第3節に記述する。

GRIB2内部は、情報毎に領域の数だけ記述し、それを情報の数だけ繰り返す（下図参照）。なお、各領域には重複部分を含む可能性があるため、再度日本域を合成するときは、3節の情報を参照のこと。



誤差情報内容

誤差情報には誤差幅推定値が格納されている。誤差幅推定値とは、1時間先までの予測降水量を合計した値をP、実際の1時間降水量をO、誤差幅推定値を ϵ とするとき、 $P-O$ が -2ϵ から ϵ までの間に入る確率がおよそ70%となるように推定される ϵ の予測値。

※3 レーダー等運用情報の詳細

(1) レーダー等運用情報1

解析値の作成に観測データを使用したレーダーサイトの情報である。レーダーとオクテット、ビットとの対応は次の表の通りである。ビットが1のときは観測データを使用、0のときは未使用を表す。

		ビット								
		7	6	5	4	3	2	1	0	
オクテット	59	菅岳	九千部	桜島	石狩	山鹿	宇城	浜松	(保留)	国土交通省 XバンドMPレーダ 雨量計
	60	六甲	熊山	常山	牛尾山	野貝原	葛城	風師山	古月山	
	61	尾西	富士宮	香貫山	静岡北	鈴鹿	安城	鷺峰山	田口	
	62	田村	水橋	氏家	能美	八斗島	関東	船橋	新横浜	
	63	北広島	鷹巣	盛岡	涌谷	岩沼	伊達	京ヶ瀬	中ノ口	
	64	種子島	名瀬	沖縄	石垣島	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	
	65	長野	静岡	名古屋	大阪	松江	広島	室戸岬	福岡	
66	札幌	釧路	函館	仙台	秋田	東京	新潟	福井	気象庁 ドップラーレーダー	

(2) レーダー等運用情報2

解析値の作成に観測データを使用したレーダーサイトの情報である。レーダーとオクテット、ビットとの対応は次の表の通りである。ビットが1のときは観測データを使用、0のときは未使用を表す。

		ビット								
		7	6	5	4	3	2	1	0	
オクテット	67	五島	八重岳	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	国土交通省 Cバンドレーダ 雨量計
	68	深山	城ヶ森山	羅漢山	大和山	明神山	高城山	釈迦岳	国見山	
	69	薬師岳	聖高原	赤城山	三ツ峠	大楠山	高鈴山	御在所	蛇峠	
	70	ピンネシリ	乙部岳	霧裏山	函岳	物見山	白鷹山	西岳	宝達山	
	71	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	
	72	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	
	73	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	
	74	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	(保留)	

(3) レーダー等運用情報3

保留(ビットはすべて1)